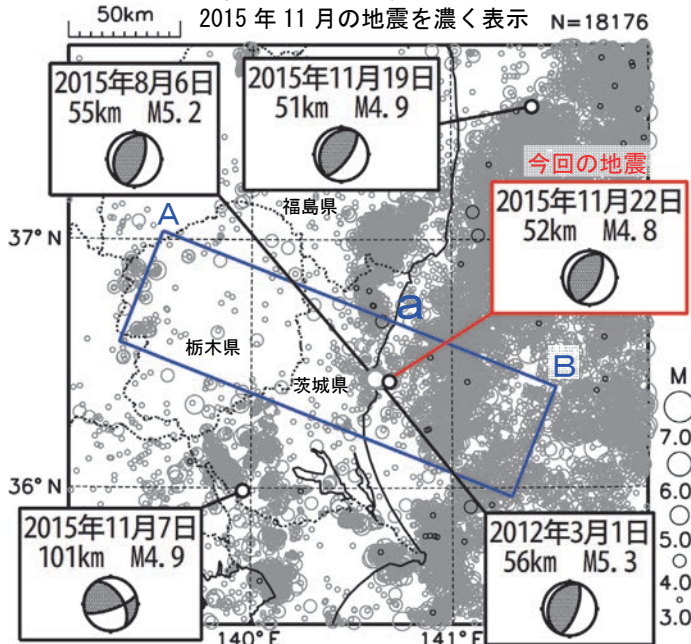
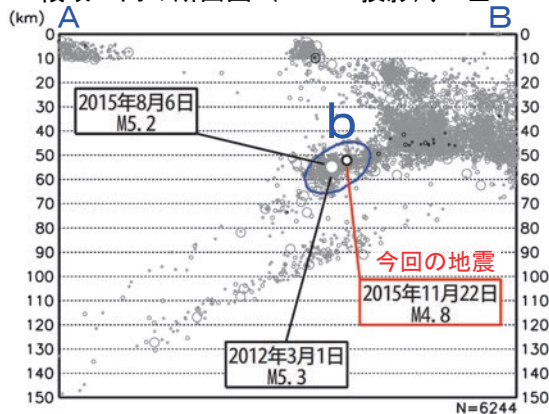


11 月 22 日 茨城県沖の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 3.0$)

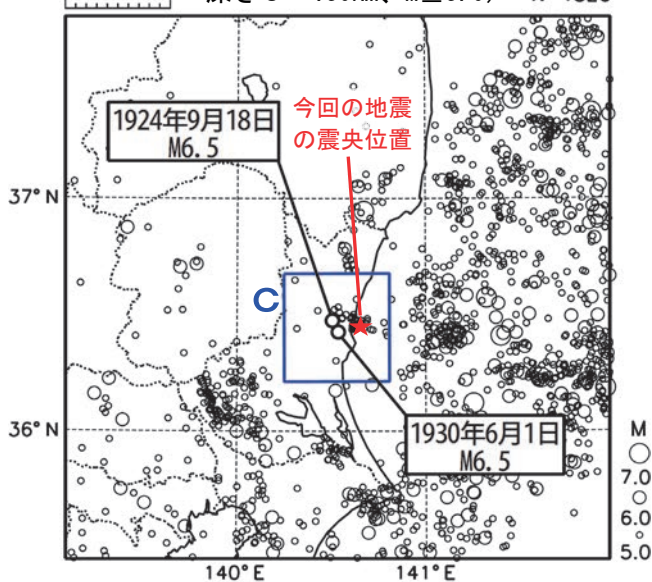
2015 年 11 月の地震を濃く表示 N=18176

領域 a 内の断面図 (A-B 投影)、 $M \geq 2.5$ 

震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$)

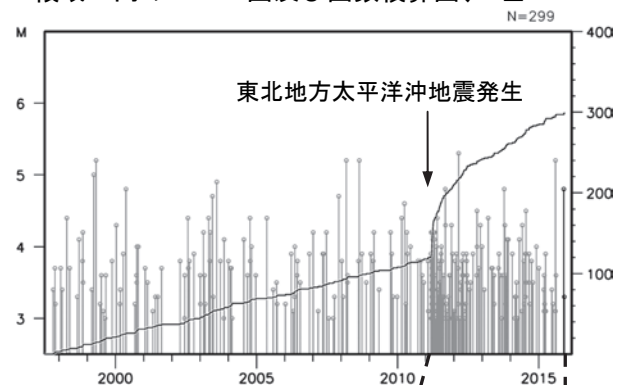
N=1326



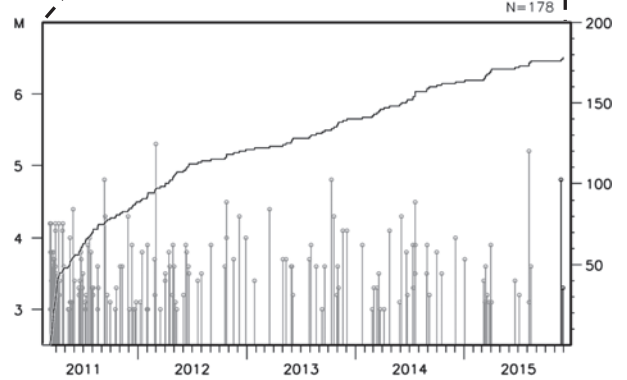
2015 年 11 月 22 日 08 時 20 分に茨城県沖の深さ 52km で M4.8 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) は、M5.0 以上の地震が時々発生している。「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降、活動がより活発になっており、2012 年 3 月 1 日には M5.3 の地震 (最大震度 5 弱) が発生している。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域 c) では、M5.0 以上の地震が度々発生しており、このうち、1930 年 6 月 1 日に発生した M6.5 の地震 (最大震度 5) では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図、 $M \geq 3.0$ 

(2011 年 3 月 11 日～2015 年 11 月 30 日)



領域 c 内の M-T 図

